

新型コロナウイルス感染症対策に係る熊本県のリスクレベルを【レベル1注意】とします

熊本県新型コロナウイルス地域区分基準表については、6月6日に開催した第3回熊本県・熊本市新型コロナウイルス感染症対策専門家会議において、改定が適当と認められ、**別紙1**のとおり熊本県リスクレベルとして改定したところです。

直近1週間（6月2日（火）から6月8日（月））の感染状況を踏まえ、専門家の意見（**別紙2**）も伺い、総合的に判断した結果、**別紙2**1のとおり6月9日（火）からのリスクレベルを【レベル1注意】とします。

【概要】

1 期間中の感染状況

| 期 間 | 新規感染者数 | リンクなし感染者数 |
|-----------------|--------|-----------|
| 6月2日（火）～6月8日（月） | 0名 | 0名 |

2 熊本県リスクレベルについて

| 前回（6月2日発表（地域区分）） | 今回（6月10日発表） |
|------------------|-------------------------------------------|
| 感染未確認地域（レベル1相当） | レベル1注意 なお、感染状況の傾向は、先週から変化は見られない |

※詳細は**別紙2**1のとおり。

3 県民の皆様へのお願い

三つの密の回避、手洗い等の手指衛生、人と人との距離の確保、マスク着用等の基本的な感染防止対策を行い、「新しい生活様式」の実践をお願いします。

※外出自粛、イベントの開催制限等詳細は**別紙2**3のとおり。

熊本県新型コロナウイルス感染症対策本部事務局
（健康福祉部健康危機管理課）
問合せ先：上野、緒方
電話：096-333-2630
（内線）5930、5932

熊本県新型コロナウイルス地域区分基準表の改定について

本県では、感染者数が大幅に増加に転じるタイミングを早期に捉え、県民に迅速に警戒を発するため、専門家の御意見を踏まえ、4月16日に「熊本県新型コロナウイルス地域区分基準」を導入しました。

6月6日に開催された専門家会議での提言を踏まえて、感染拡大早期に警戒を発する考え方は変えず、より県民に分かりやすく、また、県市で連携した対応を強化するため、熊本市で導入されている「リスクレベル」との整合を図り、次のとおり「熊本県リスクレベル」として改定しました。

熊本県リスクレベル

あくまでも目安であり、現状がどのリスクレベルに位置付けられるか、また、具体的な対策は、本県あるいは全国の感染状況及びその傾向（拡大・縮小）を踏まえ、実施する地域やその内容も含め、総合的に判断します。

| リスクレベル | 県の判断基準 | 対策例 |
|----------------------|-------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------|
| レベル4 特別警報 | 県内で ①新規感染者15名以上 かつ ②リンク無し感染者8名以上 | レベル3の対策に加え ・不要不急の外出自粛要請 ・県外等への移動自粛を要請 ・全ての催事等の自粛要請 ・施設への休業要請 |
| レベル3 警報 | 県内で ①新規感染者10名以上 又は ②リンク無し感染者5名以上 | レベル2の対策に加え ・週末等の不要不急の外出自粛要請 ・催事等の自粛要請 ・施設への休業要請 |
| レベル2 警戒 | 県内で①新規感染者が発生 かつ ②レベル3に該当しない場合 | レベル1の対策に加え ・感染拡大リスクを高める3つの密が重なる催事の自粛要請 ・不特定多数が利用する県有施設の閉館 |
| レベル1 注意 | ①国内で新規感染者が発生 かつ ②県内では新規感染者が未発生 | レベル0の対策に加え ・3つの密が重なる感染拡大リスクが高い活動や催事において、まん延防止対策を行う |
| レベル0 平常 | 国内で新規感染者が確認されていない | ・新しい生活様式の広報・実践 |

※ 「リンク無し感染者」とは、感染源が特定できないもの。
 ※ レベルを上げる場合は、週ごとに総合的に判断し、レベルを下げる場合は、前週、前々週の発生状況を踏まえ、同様に判断する。
 ※ 各所管施設の閉鎖においては、所在する市町村と情報共有し、調整に努めること。
 ※ 3つの密とは、①密閉空間（換気の悪い密閉空間である）、②密集場所（多くの人が密集している）、③密接場面（互いに手を離さず話しかけ距離での会話や発声が行われる）

（参考：従前の地域区分及び対応）

熊本県新型コロナウイルス地域区分基準

| 判断基準/週 | 地域区分 | 対応例 |
|---------------------------------------------------------------------------|-----------|----------------------------------------------------------------------------------|
| ・県内が感染拡大傾向期であり、新規感染者数が前週の1.5倍以上 ・県内が感染拡大警戒地域であり、新規感染者数が前週の1.5倍以上の場合、維持 | ・感染拡大警戒地域 | ・外出自粛要請等 ・10名以上が集まる集会・イベントへの参加を避ける ・家族以外での多人数での会食などは行わない ・学校の臨時一斉休業も選択肢 |
| 県内で ①新規感染者 10名以上 又は ②リンク無し感染者 7名以上 | 感染拡大傾向期 | 「感染拡大警戒地域」と同じ対応を 一歩先んじて実施 |
| 県内で ①新規感染者 9名以下 かつ ②リンク無し感染者 6名以下 | ・感染確認地域 | ・「3密」を徹底的に回避 ・屋内で50名以上が集まる集会・イベントへの参加を控える |
| 県内で 新規感染者 0名 | ・感染未確認地域 | ・「3密」を回避する対策 ・リスクの低い活動については注意しながら実施 ・行動変容*に向けた広報・啓発 |
| 県内で 直近の4週間新規感染者 0名 | ・収束 | 通常の感染予防活動 |

集計期間は熊本市と同一とし、認識を共有して評価する。
 地域区分は判断基準を参考とし、総合的に判断する。

※ ...感染拡大を防ぐため、住民が自らの行動を変えること

熊本県における新型コロナウイルス感染症に関する概況

令和2年（2020年）6月10日現在

1 熊本県における現状認識

国内では局地的な感染は散発しているが、全体として感染者数は減少している。

本県においては、現時点で48例が確認されているが、新規感染者は5月9日以降確認されておらず、期間中（6/2～6/8）の感染状況は新規感染者及びリンク不明の感染者とともに0人であるため、リスクレベルを「レベル1注意」とする。

また、感染状況の傾向についても、先週から変化は見られない。

一方、国内の感染状況から、県民に対し、基本的な感染防止対策や、「新しい生活様式」の実践等の啓発を行い、第2波を防ぐ対策を進めることが必要である。

特に、これまで多数の感染者が見られた熊本市と連携し、啓発を進める。

| 前回（6/2発表；地域区分） | 今回（6/10発表） |
|-----------------|--------------------------------------------|
| 感染未確認地域（レベル1相当） | レベル1注意 なお、感染状況の傾向は、先週から変化は見られない。 |

※リスクレベルは、「特別警報」、「警報」、「警戒」、「注意」、「平常」の5区分で判断する。

※レベルに加え、感染状況の傾向の判断を行う。

[熊本県リスクレベル]

※あくまでも目安であり、現状がどのリスクレベルに位置付けられるか、また、具体的な対策は

本県あるいは全国の感染状況及びその傾向（拡大・縮小）を踏まえ、実施する地域やその内容も含め、総合的に判断する。

| リスクレベル | 県の判断基準 | 対策例 |
|----------------------|-------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------|
| レベル4 特別警報 | 県内で ①新規感染者15名以上 かつ ②リンク無し感染者8名以上 | レベル3の対策に加え ・不要不急の外出自粛要請 ・県外等への移動自粛を要請 ・全ての催事等の自粛要請 ・施設への休業要請 |
| レベル3 警報 | 県内で ①新規感染者10名以上 又は ②リンク無し感染者5名以上 | レベル2の対策に加え ・週末等の不要不急の外出自粛要請 ・催事等の自粛要請 ・施設への休業要請 |
| レベル2 警戒 | 県内で①新規感染者が発生 かつ ②レベル3に該当しない場合 | レベル1の対策に加え ・感染拡大リスクを高める3つの密が重なる催事の自粛要請 ・不特定多数が利用する県有施設の閉館 |
| レベル1 注意 | ①国内で新規感染者が発生 かつ ②県内では新規感染者が未発生 | レベル0の対策に加え ・3つの密が重なる感染拡大リスクが高い活動や催事において、まん延防止対策を行う |
| レベル0 平常 | 国内で新規感染者が確認されていない | ・新しい生活様式の広報・実践 |

※「リンク無し感染者」とは、感染源が特定できないもの。

※レベルを上げる場合は、週ごとに総合的に判断し、レベルを下げる場合は、前週、前々週の発生状況を踏まえ、同様に判断する。

※各所管施設の開閉においては、所在する市町村と情報共有し、調整に努めること。

※3つの密とは、①密閉空間（換気の悪い密閉空間である）、②密集場所（多くの人が密集している）、③密接場面（互いに手を伸ばしたら届く距離での会話や発声が行われる）

2 熊本県・熊本市新型コロナウイルス感染症対策専門家会議 座長コメント

(6月9日現在)

- 6月6日に開催した県・市合同専門家会議において、県民・市民が現在の感染状況等をより分かりやすく理解できるよう、県でもリスクレベルの考え方を導入することで合意されたことから、今回より、県・市ともにリスクレベルでの公表となる。
- 県内の感染状況においては、5月9日以降、1か月にわたり新規感染が確認されておらず、このことは、県による外出自粛及び営業自粛の要請解除後も、県民・市民一人ひとりが感染防止対策に取り組んでいる成果の表れであると考えられる。
- このような状況から、リスクレベルは県・市ともに「レベル1注意」とすることが妥当である。
- 一方で、現在、北九州市においては、局地的な感染拡大が発生しており、今後も、同様の事態が国内の場所を問わず散発することが懸念されることから、県市連携のもと、検査体制や医療提供体制の拡充など第2波に備えた対応を着実に取っていただきたい。
- 加えて、感染症の再流行を防ぐため、熱中症予防にも留意しつつ、引き続き「3つの密」を避けることや身体的距離を確保するなど、「新しい生活様式」の実践と周知を図るとともに、感染の増加が見られた場合は、果断に判断し、警戒を発出していく必要がある。

3 県民の皆様へのお願い（6月10日発表）

熊本県のリスクレベルを【レベル1注意】とします。
また、感染状況の傾向に変化はありません。
つきましては、感染防止のため、次の対応をお願いします。

（1）基本的な考え方

- ・三つの密の回避、手洗い等の手指衛生、人と人との距離の確保、マスク着用等の基本的感染防止をお願いします。
- ・「新しい生活様式」の実践をお願いします。

（2）外出自粛について

- ・緊急事態宣言が解除されて間もない区域（北海道、埼玉県、千葉県、東京都、神奈川県）との間の県境を越えた移動は慎重にしてください。
 - ・「三つの密」のある場への外出は控えてください。
 - ・感染が流行している地域へは、「新しい生活様式」の一環として、移動を控えてください。
- ※ なお、感染拡大が見られない場合は、制限を段階的に緩和することとしています。

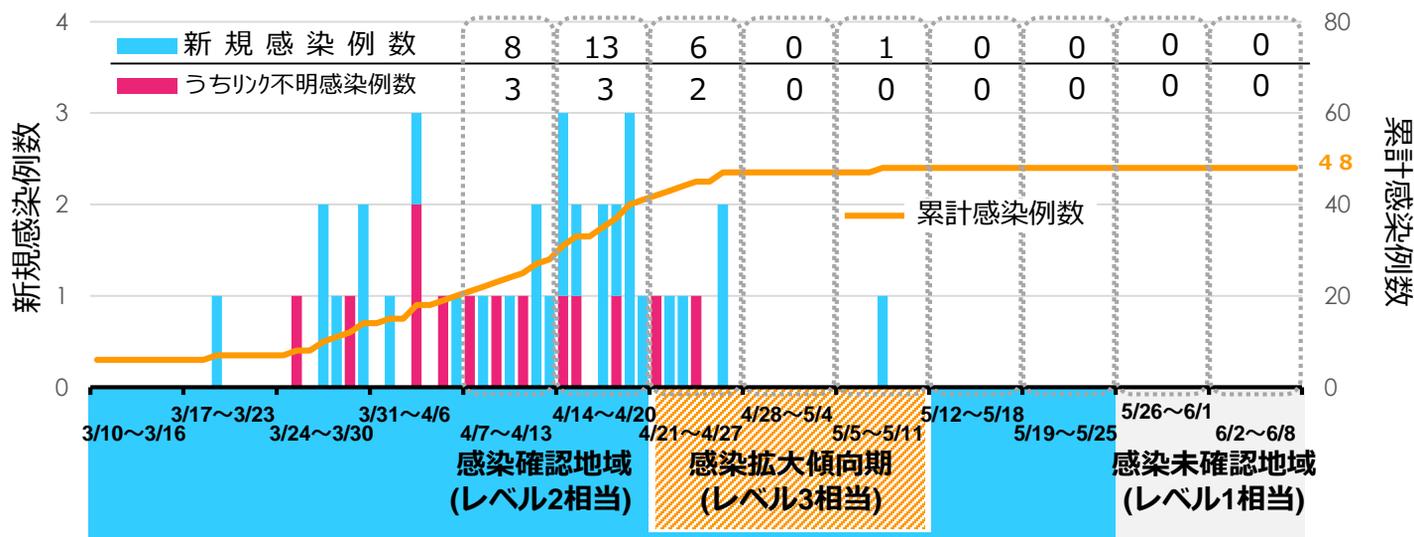
（3）イベントの開催制限について

- ・全国的・広域的なお祭り・野外フェス等の開催は、基本的に自粛してください。
 - ・屋内のコンサート、展示会、地域の行事等については、収容率50%以内かつ上限100人のものは可能です。
 - ・屋外のコンサート、地域の行事等については、できれば2m以上の十分な間隔を取り、かつ200人以内のものは可能です。
 - ・いずれのイベント実施も、3密を避ける等の基本的な感染防止の徹底が条件です。
- ※ なお、感染拡大が見られない場合は、制限を段階的に緩和することとしています。

（4）営業自粛について

- ・現在、営業自粛についての協力要請は行っていません。
- ・県が示したチェックリスト等により、十分感染防止活動を行ってください。
- ・県民の皆様は、感染防止活動を行っているお店を選んで利用してください。

【熊本県における新型コロナウイルス感染者発生状況】



4 新しい生活様式の啓発について

引続き、新しい生活様式の実践について、啓発を進めます。

「新しい生活様式」の実践例

(1) 一人ひとりの基本的感染対策

感染防止の3つの基本：①身体的距離の確保 ②マスクの着用 ③手洗い

- 人との間隔は、できるだけ2m（最低1m）空ける。
- 遊びにいくなら屋内より屋外を選ぶ。
- 会話をする際は、可能な限り真正面を避ける。
- 外出時、屋内にいるときや会話をするときには、症状がなくてもマスクを着用
- 家に帰ったらまず手や顔を洗う。できるだけすぐに着替える、シャワーを浴びる。
- 手洗いは30秒程度かけて水と石けんで丁寧に洗う（手指消毒薬の使用も可）

※ 高齢者や持病のあるような重症化リスクの高い人と会う際には、体調管理をより厳重にする。

移動に関する感染対策

- 感染が流行している地域からの移動、感染が流行している地域への移動は控える。
- 帰省や旅行はひかえめに。出張はやむを得ない場合に。
- 発症したときのため、誰とどこで会ったかをメモにする。
- 地域の感染状況に注意する。

(2) 日常生活を営む上での基本的生活様式

- まめに手洗い・手指消毒 咳エチケットの徹底 こまめに換気
- 身体的距離の確保 「3密」の回避（密集、密接、密閉）
- 毎朝の体温測定、健康チェック。発熱又は風邪の症状がある場合はムリせず自宅で療養



(3) 日常生活の各場面別の生活様式

買い物

- 通販も利用
- 1人または少人数ですいた時間に
- 電子決済の利用
- 計画をたてて素早く済ます
- サンプルなど展示品への接触は控えめに
- レジに並ぶときは、前後にスペース

娯楽、スポーツ等

- 公園はすいた時間、場所を選ぶ
- 筋トレやヨガは自宅で動画を活用
- ジョギングは少人数で
- すれ違うときは距離をとるマナー
- 予約制を利用してゆったりと
- 狭い部屋での長居は無用
- 歌や応援は、十分な距離かオンライン

公共交通機関の利用

- 会話は控えめに
- 混んでいる時間帯は避けて
- 徒歩や自転車利用も併用する

食事

- 持ち帰りや出前、デリバリーも
- 屋外空間で気持ちよく
- 大皿は避けて、料理は個々に
- 対面ではなく横並びで座ろう
- 料理に集中、おしゃべりは控えめに
- お酌、グラスやお猪口の回し飲みは避けて

冠婚葬祭などの親族行事

- 多人数での会食は避けて
- 発熱や風邪の症状がある場合は参加しない

(4) 働き方の新しいスタイル

- テレワークやローテーション勤務 時差通勤でゆったりと オフィスはひろびろと
- 会議はオンライン 名刺交換はオンライン 対面での打合せは換気とマスク

※ 業種ごとの感染拡大予防ガイドラインは、関係団体が別途作成